

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称	コード	名 称
事業名	589	環境保全対策事業	01	一般会計
基本施策	26	環境問題など協働して取り組む	04	衛生費
			01	環境衛生費
			04	環境対策費
担当部課名	青山支所 生活環境課		101	環境保全対策事業費
作成者氏名	落合博文	連絡先	52-3227	環境保全対策事業費
			細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	地域の環境(地域の住民、事業者等)	従来の環境問題は、四日市公害に代表されるような産業型公害であったが、今日的な公害は生活排水、廃棄物処理、生活騒音等生活型公害に移行してきている。これら公害問題に対応するには市民と行政の協働が必要で、このことによりより快適な生活環境が確保される。				
本年度事業内容	伊賀南部環境衛生組合新清掃工場の建設推進、青山支所管内を対象としたクリーン活動の実施、空地の雑草繁茂の実態調査と除去勧告、産業廃棄物中間処理施設及び処分場の立入調査、公害防止協定締結事業者の立入調査及び結果の検証、不法投棄の監視と投棄物の撤去					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1	1
	人件費合計(A)	10,800	7,200	7,200
②支出内訳(千円)	事業費(B)	667	835	840
	旅費	13	20	20
	需用費	35	94	150
	補助金	500	450	400
	その他	119	271	270
合計(A+B)		11,467	8,035	8,040
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		11,467	8,035	8,040
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
青山支所クリーンデー	人	2850	2900	3000			
空地の雑草除去勧告	件	31					
蜂の防護服貸出件数	件	47					
環境パトロール	回	24	50	50			
河川水質調査	箇所	44	23	30			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
環境満足度調査	合併前の青山町では町の自然度、町の環境チェック、家の中の環境チェックを実施している。	点	72 目標 (80)	80	80
減量化率(可燃ごみ)(本年度ごみ処理量/前年度ごみ処理量)	前年度ごみ処理量を分母とし、本年度ごみ処理量を分子とする減量化率を指標とした。	%	4.91 目標 (3)	2(2)	2(2)

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

施策の取組みについては、地域間に大きな隔たりがあり、真の環境保全に向けた施策の統一・一体性が必要である。環境施策の取組みについては、従来の規制行政の枠を超えることができない面も見受けられるので、一歩進めて快適な生活環境の創造に向けての環境施策への転換を図る必要がある。

評価	必要性	4	必要性:市民の快適環境の確保には環境保全対策は不可欠である。 有効性:地域住民の環境に対する意識は高まりつつある。 達成度:環境保全対策の実施により、支所最下流の青山羽根のBOD負荷量は現状維持となっている。ごみ処理量も減少傾向にある。 効率性:環境施策の推進は一面地域の実情を踏まえた取組みが必要であり、効果的な取り組みが図れることもある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		